

マクロ経済学 第5回 解答解説

A1. × (🔑 VテキストP197)

このとき、IS曲線は垂直になる。

A2. ○ (🔑 VテキストP207)

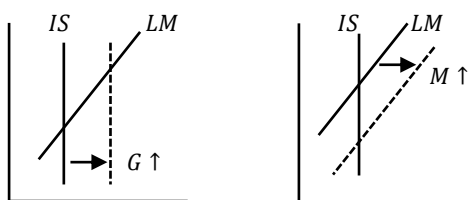
これは流動性のわなを表す。

A3. ○ (🔑 VテキストP228, 233)

なお、財政拡大の場合、利子率を上昇させ、金融緩和の場合、利子率を低下させる。

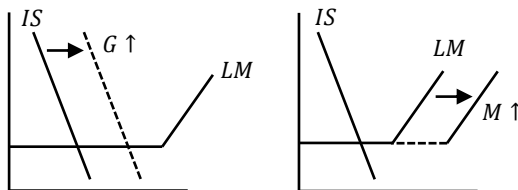
A4. ○ (🔑 VテキストP229, 236)

財政拡大と金融緩和で考えると、投資の利子弾力性がゼロの場合（IS曲線は垂直）、前者は有効であり、後者は無効である（縦軸は利子率，横軸は国民所得）。



A5. × (🔑 VテキストP230, 235)

これは流動性のわなだから、財政政策は有効、金融政策は無効である。



A6. ○ (🔑 VテキストP233)

A7. ○ (🔑 VテキストP240)

クラウディング・アウトが生じない（利子率が上昇しない）場合、国民所得の増加は、

$$\Delta Y = \frac{1}{1-c} \Delta G = \frac{1}{1-0.75} \times 10 = 4 \times 10 = 40$$

だから、クラウディング・アウト効果によって国民所得は 20 減少したと言える。